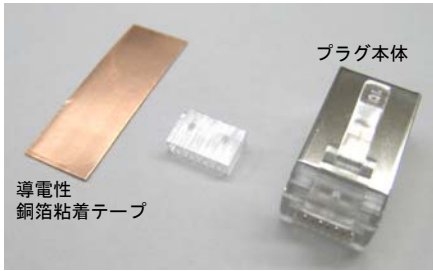


モジュラプラグ：TMP-SC601加工手順書

S17DM

(ケーブル：立井電線製 T-SB5E202W-4P への取付け加工)

- ①モジュラプラグ TMP-SC601、専用ブーツ TMB-70BK(黒)、専用収縮チューブ TST-965BK(黒)を準備します。



モジュラプラグ (TMP-SC601)



専用ブーツ と 専用収縮チューブ

※収縮チューブは専用タイプをご使用ください。市販の汎用品をご使用になりますと、専用ブーツ TMB-70BK の挿入が難しくなってしまいます。

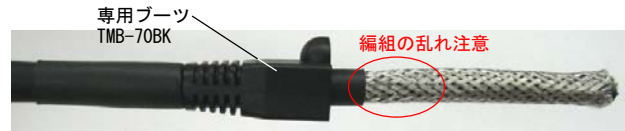
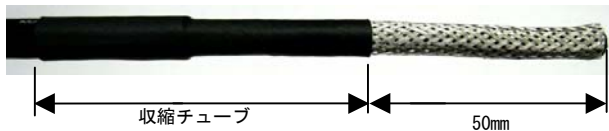
※ブーツ加工が不要の場合はブーツの準備は不要です。また、市販のブーツはケーブル外径が合わない為使用できません。ご注意ください。

- ②ケーブルに専用収縮チューブを通し、ケーブル先端の外部シースを約 85mm 剥離します。



※外部シースカット時、編組に強くカッター等の刃を当てない様にしてください。

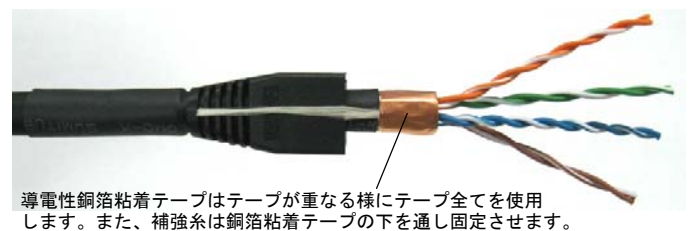
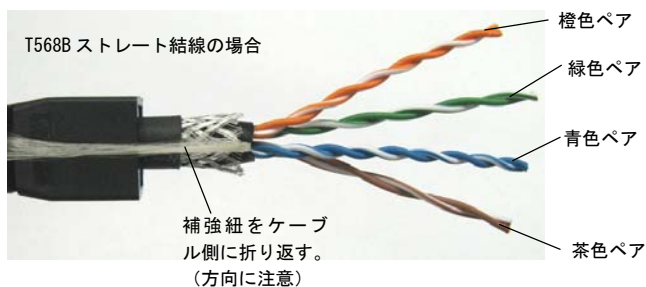
- ③収縮チューブをケーブル先端から 50mm の位置から収縮をします。次に編組の根元付近が乱れない様に注意しながら専用ブーツを挿入します。ブーツが挿入しにくい場合は市販のプラスチック用離型剤等を収縮チューブのブーツ挿入部分に塗布して滑りを良くしてから挿入してください。



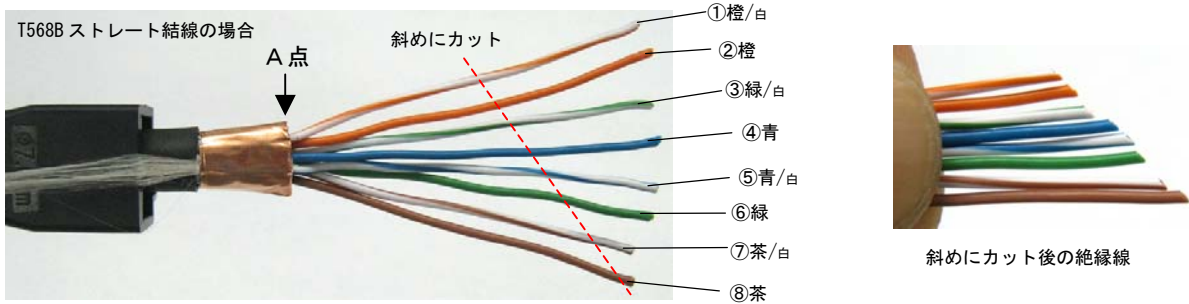
- ④収縮チューブ側の編組 8~9mm を残しカットします。更に収縮チューブ端から内部シースを 10mm 残して剥離します。このとき内部の絶縁コアに傷つかないように注意して作業をしてください。



- ⑤ケーブルを回転させながら対撚り線を橙色ペアが上側、茶色ペアが下側になる様にします。補強糸をケーブル側に固定し、その状態を維持したままで編組に導電性銅箔粘着テープをテープが重なる様に巻き付けます。銅箔粘着テープは付属した状態のものをカットせずに全てを巻き付けます。



⑥銅箔粘着テープの端のA点の際まで対撚り線を戻し、真っすぐにします。8本をガイドに挿入する順番に並べます。その後、8本の絶縁線の先端をガイドへの挿入がしやすい様に斜めにカットします。



※対撚り線の戻しはA点よりケーブル側（銅箔粘着テープ側）まで行わないこと。電気特性に影響を与える重要ポイントとなりますので、注意して加工してください。

⑦カットした絶縁線の長い方（茶色）から順にガイドに挿入し、ガイドの先端側が銅箔粘着テープのA点から12mmの位置で絶縁線をニッパなどで8本を同じ長さでカットします。



⑧ガイドの先端部が本体に突き当たる状態までプラグ本体に挿入します。突き当たりまで挿入すると銅箔粘着テープがプラグ本体の入口部分に少し見える状態になります。



⑨専用圧着工具でプラグを圧着します。圧着後に補強糸は5mm程度を残しカットします。



⑩専用ブーツをプラグ本体側へ移動させて完成となります。





立井電線株式会社

本社営業部 〒578-0914 東大阪市箕輪 3-6-60
TEL (072) 962-0321 (代) FAX (072) 962-0328

東京営業所 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-14
TEL (03) 3502-2651 (代) FAX (03) 3502-2660

URL <http://www.tachii.co.jp>
e-mail info@tachii.co.jp